



▲野市中学校の皆さんと櫻井つぐみ選手



▲野市小学校 お手製うちわやアーチでお出迎え



▲かつての同級生(野市中現教員)から言葉を受け取る

小・中学生時代の母校を訪れ 後輩ら大歓喜

8月23日(金)、櫻井選手は母校である香南市立野市中学校と野市小学校を訪れました。

野市中学校では生徒が鳴子もち、野市小学校では児童が花のアーチをもち、今か今かと待ちます。姿が見えた途端、生徒たちから歓声が上がリ、それを受け櫻井選手は笑みを浮かべました。

母校の後輩たちからは、櫻井選手へ多くの質問が飛び交い、夢を実現するために必要なことは何かという質問には、「具体的な目標を立て、毎日コツコツと努力を積み重ねること」と答え、後輩へエールをおくりました。

楽しんで臨んだ試合本番 金メダルを手にし、思い溢れる

試合本番は、観客も満員で他の国の方の応援もあり、楽しんで試合をすることができたそう、緊張もしなかったといいます。

決勝戦で勝利をおさめ金メダルを獲得した時は、本当に夢かと思うくらい今ままで一番嬉しかったと語る櫻井選手。

「本当にこれまでやってきたこと、いろいろあったなと思いましたが」

充実した日本の施設、パリでの調整は完璧

パリでの調整期間は、充実した日本の施設のおかげもあり、調整はほとんど完璧で、特に食事は栄養バランスもしっかり考えられており、種類も豊富でおいしかったそうです。

また、観光の時間はなかったものの、会場近くのエッフェル塔までランニングをし、軽い息抜きになったといいます。

そうして、櫻井選手はベストコンディションで試合本番を迎えました。

櫻井つぐみ選手に聞く 努力の集大成、パリオリンピック

充実した日本の施設、パリでの調整は完璧

支えてくれた多くの方へ感謝 子どもたちに夢と目標を

小さいころから多くの方に支援や指導をもらったからこそ、ここまで結果を残せたという櫻井選手。

「本当に感謝しかありません」と一言。

最後に、「ずっと夢だった舞台で戦うことは本当に最高でした。これから夢や目標を持つ子どもたちに、自分の活躍をみて、頑張ろうと思ってもらえと嬉しかったです」と語りました。



▲パリにて、父・櫻井優史さんと



© PHOTO KISHIMOTO



櫻井つぐみ選手
夢の金

8月10日(土)4時15分(日本時間)パリオリンピック2024・レスリング女子57キロ級の決勝を迎えた櫻井つぐみ選手は、落ち着いた試合運びで勝利をおさめ、見事オリンピックの舞台上で金メダルを掴みました。

オリンピックでの金メダル獲得は、香南市初はもちろんのこと、高知県勢としては92年ぶり、なんと女子では初の快挙です。

櫻井選手の出身地である本市では、巨大地震注意によりパブリックビューイングは中止となったものの、関係者各々が応援タオルを握りテレビに張り付き応援、歴史的瞬間を見届けました。

櫻井選手の快挙に、本市は「金メダルおめでとう」といったパネルを設置、旗を掲げるなどしてお祝いのムードを盛りあげました。

櫻井つぐみ選手、宣言どおり「金」を獲得 夢のオリンピックの舞台上で、頂点に輝く



故郷・香南市の市役所を訪問

8月22日(木)、香南市役所本庁へ櫻井選手が表敬訪問に訪れました。市内の児童クラブの子どもたちや本市の職員が拍手で盛大に出迎え、濱田市長から櫻井選手へお祝いの花束が手渡されました。

また、子どもたちからは、お祝いメッセージが寄せられ、櫻井選手は本当に嬉しいと満面の笑みで応えていました。



▲児童クラブの子どもたちのメッセージ



▲本庁舎表敬訪問の様子